

【教育目標】 **総合目標** 知性を磨き、心を見つめ、チャレンジする生徒



チャレンジ☆アイ

- ◎自主性、創造性のある生徒(知育)
- ◎情操豊かな生徒(徳育)
- ◎健康でたくましい生徒(体育)

【伊良波中「アイ☆プロジェクト」始動】

～一人一人が大切にされ、居心地が良く、個性や能力を発揮できる伊中に！～

すべての伊中生にとって、伊良波中学校が安心して安全に過ごせる学校であるように。そして、授業、学級・学年活動、生徒会活動、学校行事、部活動などに協力して取り組み、一人一人の個性や能力を発揮できる「魅力ある学校」を実現するために、今年度、新たに伊良波中「アイ☆プロジェクト」を提案します。

アルファベットの I (アイ) から始まる「IRAHA」中学校なので、「アイ」にこだわって4つの取り組みを考えました。

①「あいさつ」、②「出会い」、③「〇〇合い」(協同)、④「愛」(思いやり)の4つの「アイ」を意識して学校生活に取り組むことで、居心地が良く、お互いの絆を大切にしながら色々なことにチャレンジできる伊良波中学校をつくっていきましょう！

「I(アイ)」から始まる「IRAHA」中学校の・・・

伊良波中 アイ☆プロジェクト



1. 笑顔で“あい”さつ！

★ あいさつは、自分を開き、相手を受け入れる、人間関係づくりの第一歩！



2. 出“会”いはチャンス！

★ ステキな仲間、おもしろい本、感動体験・・・成長のチャンスを逃すな！



3. 一人じゃないから“合”いがある！

★ 認め合い、学び合い、語り合い、競い合い、励まし合い、支え合い、高め合い・・・



4. 最後はやっぱり“愛”だよな！

★ 自分を愛し、仲間を愛し、学校や家族も愛そう！「愛の勇者」伊中生！

※ 学校は、生徒の皆さんが主役です。生徒会を中心に、生徒の手で、誰にでも自慢できる、魅力ある伊良波中学校づくりに取り組んでほしいです。

【1年総合学習】復帰50年・・・5.15から考える沖縄

～1972年5月15日前後の沖縄の人々の生活の様子を写真から読み取る！～

5月11日(水)の5校時、1学年の総合的な学習の時間に、「5.15から考える沖縄」と題して、沖縄の本土復帰前後の人々の生活について考え、地域の歴史について理解を深める授業がありました。

沖縄は、1945(昭和20)年の敗戦(沖縄戦の終結)以降、米軍によって統治され、1952年4月28日のサンフランシスコ講和条約の発効により日本本土が独立を果たした後も、奄美群島や小笠原諸島などと共に米軍統治下に置かれました。1972(昭和47)年5月15日は、沖縄が戦後27年間の米軍統治から解放され日本に復帰した日です。

「復帰」から50年の節目に当たる今年、本校では、1・2学年の総合的な学習の時間や3学年の社会の授業で、「4.28」や「5.15」と関連させて沖縄の過去・現在・未来と平和について考える授業を実施してきました。

今回の1学年の授業では、1972年5月15日の「復帰」前後の出来事を取り上げた8枚の写真をグループに提示し、各グループで写真から読み取れることを話し合い、写真にタイトルをつける「フォトランゲージ」の手法で当時の沖縄の社会や人々の生活の様子について考えました。(内山直美教頭が1年4組の対面の授業を行い、他のクラスは電子黒板を利用したりリモート授業で実施しました。)

①軍票B円からドルへの交換



②沖縄から甲子園初出場の首里高校



③傘を差して授業を受ける中学生



④コザ事件で焼討ちされた米軍車両



⑤車は右車線(58号線)



⑥ドルと円の換算表を見る主婦



⑦ドルから円への交換で忙しい銀行



⑧車は右から左へ



【授業の様子】

